



桂門会総会を開催

～次の時代に向けて結束を～



桂門会報

箕面自由学園 同窓会

豊中市宮山町 4-21-1
箕面自由学園桂門会
広報委員会
TEL 06-6852-8110 (学園内)
FAX 06-6147-7337
https://www.mino-jiyu.jp/
mjk-dosokai@cap.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00920-2-2458

桂門会の24年度総会(同窓生の集い)が11月30日、学園の桂門ホールで行われました。併せて「還暦の会」二十歳の会が開催され、昨年卒業した若人から80代までの同窓生約110人が交流しました。



総会では松矢康彦理事長が「激しく変化している社会に対応するため前例にとらわれず、改革を進めています。来年の創立100年は式典でつながり、をテーマに在校生、同窓生、周辺のみなさんにも参加をお願いしようと考えています」と挨拶。西村会長は、「以前、学園80年史が小学校で副読本として配られていました。来年は100年史を制作します。再び副読本として学園史を学んでもらいたい」といい、費用を桂門会で負担すると述べました。

今年の会計収支報告が木村弘子事務局長からあり満場一致で承認されました。

総会のあとチアリーディング部と吹奏楽部のマージングが披露されました。チアの演技はウォーミングアップから始まり、58人が5年連続日本一のパフォーマンスを発揮していました。「練習ではバランスを崩して落下していたのに本番では完璧。集中力のすごさを目の当たりにした」と同窓生は感心しきりでした。

吹奏楽部のマージングは11月の全国大会で3年連続の金賞に輝きました。顧問の福里大輔教諭は、「今年は半数近い35人が大会未経験でしたが、部員全員が出演できたので、濃密な練習が本番で生かせました」と指揮棒を振っていました。

食堂で茶話会が開かれ、参加者たちは自己紹介や近況を語り合いました。大学3年生の男性は「来年もぜひ参加したい。就活ですのでもいい報告を先輩にできるような気がします」と笑顔で話していました。



高校グラウンド

高校のグラウンドが24年春、人工芝に生まれ変わりました。100周年に向けて環境整備の柱となる事業で桂門会も協力、3500万円を寄付して母校の発展に寄与しました。

全面人工芝

約13240平方メートルのグラウンドはアメフト、サッカー、硬式野球、ハンドボールのフィールド競技のほか、陸上競技部やテニス部も使用しており過密状態。土のグラウンドは晴天が続くと砂埃がひどく、近隣住宅からの苦情が絶えません。ここ20年ほどは抜本的な対策が喫緊の課題でした。小中学校の校庭は順次



桂門会 西村勝正会長

来年は創立100周年

箕面自由学園は2回の誕生日があります。1回目は4月10日です。大正15年のこの日に箕面の地(現在の箕面市立北小学校)で創立しました。2つ目は10月5日です。昭和22年に現在の丘の上に学園が再建されました。この2回の誕生日が学園の建学精神に大きく繁栄しています。先の大戦で校舎を失ったが、保護者の方々が子どもたちに学びの

場を持たせたい一心で雑木林の丘を借り受け整地し、資材を持ち寄り手造りの校舎を建てました。この学園愛について当時学園長の矢内正一先生は次のような言葉を残しています。へ人間は、自分一人だけ幸福になろうとしても幸福にならない。他人の幸福も常に考えて行動するタイプの人、却って自ら幸福な人生を送る。(中略)学園の子供は人に愛され尊敬される人間に育ってほしいと私は心から願う。現役の園児、生徒、卒業生そしてこれから入学する生徒たちのため150年200年と受け継いで行かねばなりません。これからも学園、桂門会にご支援とご協力をお願い致します。

学園の混乱と苦難の時を過ごす

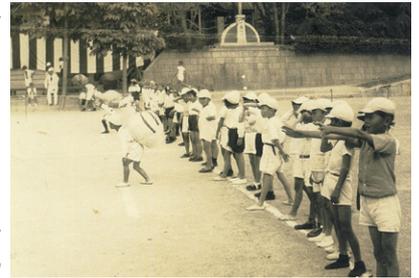
大先輩の矢野郁也さんが2月28日に逝去されました。享年90歳。昨年12月の桂門会総会に出席されてチアリーダー部の演技や吹奏楽部の演奏に「いい学校になりましたね」と嬉しそうに話されていました。学園史のなかで戦前戦後の混乱と苦難の時代がありました。その流れに翻弄された少年期を過ごされておられ、西村会長が100周年に向けて「体験記」を後輩たちに残してほしいと依頼しました。快諾されてすぐに執筆しておられました。弔問の際、ご遺族から原稿をいただきました。ご冥福をお祈りするとともに謹んで掲載させていただきます。



景な田舎でうぼうの鳥と野兎のふんが

ちこちにちらばった寂しい村でしたが、それでも生活環境の良さは、大阪の他の町よりは優れているように思われていたようで、若い家族が少しずつ移り住んでい

当時の箕面学園小は、箕面の里山のすそのにあり、自然の環境には大変恵まれていました。町並みは静かで、戦争の影響が強まる中であつたにもかかわらず学びの環境が侵されることはありませんでした。



感染症対策とワクチン開発の人生

20期生 矢野郁也さん

発令される日々が続き都会から疎開される人が増えたのです。安定的な生活がしづらくなり世の中全体が不安に包まれました。授業時間も減ってきて、空襲警報が再三発令されるため防空頭巾をぶらさげて、通学に不便を覚えた思い出が残っています。そして、学業は石橋の宣真学園へ1年間、さらにその後中山寺へ疎開して1年間、遂には箕面駅近くの街並みにB29の爆弾が投下され、一帯が破壊されたことは今でも生々しく、恐ろしい記憶となっています。

それでも戦争が終わって中学（豊中中学校）に入學してからは、ガラリと雰囲気が変わり、自由が戻って来たお陰で、私は中学から高校へ進學し無事大学入試に成功し、大阪市立大学理学部をへて医学部専門課程に入學、念願の医師となることができました。医学部卒業後は当時全盛を極めていた結核専門病院で患者さんの治療に追われるようになります。

久しぶり（約30年振り？）に我が小学校の母校の同窓会に出席しました。たまたま私は存命の卒業生中、出席者で最高齢と言う事でした。その折に同窓会長より90年の歴史を書くようにとのお言葉をいただきました。とにしました。



私は昭和9年（1934年）生まれです。人生最初の学校生活は昭和15年に始まります。第2次世界大戦の直前で、当時の箕面村は紅葉の名所として知られていた



背景に授業は一般の「算数、国語理科」以外に「自然」や「登山」のような科目があり、近隣の小学校とは一段変わった授業がありました。生活に関する関心もここで植え付けられた様に思います。

それはとも角、やがて戦争が始まって周囲の環境も次第に厳しいものになりました。空襲警報が響いている様に思われます。感



振り返ってみれば私の一生は、箕面（自由）学園に始まり、小学校生活が私の一生に大きく影響している様に思われます。感

矢野さんは大阪市立大医学部を卒業。国立刀根山病院勤務、結核と進行性筋ジストロフィー症の治療研究に従事。阪大、関西医科大学、新潟大で細菌学を研究。大阪市立大医学部教授のあと日本BCG研究所所長就任。2015年に退職されました。大阪市立大名誉教授。



学園史を学ぶ



井上健二さん

来年の学園100周年を前に戦後の苦難の時代を学ぼうと11月1日、小学校3年生25人が宝塚市の中山寺を訪ね、同寺のお堂などで勉強を続けた当時を偲んだ。

この日、講師として学園の歴史について話したのは元小学校教師、井上健二さん。井上さんは1979年に学園に赴任され、以来、35年にわたり小学校で教鞭をとられた。退職後も事務局で仕事をされており、幼稚園バスの誘導などで子供たちにも親しまれている。20年前の「80年史」で執筆された、苦難の時代に詳しいので説明役に白羽の矢が立った。

学園は1926年(大正15年)4月、阪急箕面駅東500坪の敷地(現在箕面北小学校)に、時計台のあるモダンな校舎を建設。箕面学園尋常小学校の校名でスタートした。欧米風の三角屋根で象徴される進歩的な教育内容が特徴だった。16年男女138人が机を並べ外国人教師に



を余儀なくされた。そこで池田さんが決断され、中山寺のお堂などを学び舎にされた。お寺はほとんどが豊敷。江戸時代の文字通り「寺

よる英語授業や油絵、理科実験室「小屋」である。

興味や向学心をできるだけ伸ばそうという自由な校風が満ち満ちていた。

しかし、太平洋戦争がはじまり、42年スポンサーが廃校を決議。学校運営は保護者に移ったが、翌43年に土地、校舎を売却されてしまった。保護者の懸命の努力で廃校は免れたが、校舎を探し求めることになった。

45年4月、保護者の一人だった中山寺成就院の院主の池田澄澄

校舎も校庭もなく 中山寺の疎開時代を耐える

さんの尽力で池田市の私立直真女学校の校舎を借り受けることになった。終戦で女学校の生徒が学徒動員から復帰すると、子供たちは校舎からはみ出し再び流転



中山寺を訪れた生徒たちは同寺の広間に座り井上さんから当時の話に耳を傾けた。開校当時の校舎や引越してきたころの同寺の写真を前に井上さんが学園史を説明。中山寺では境内にある四つの建物が教室となった。個人の机はなく畳の上に信者さんの長机を置いて、子供たちはその前にきちんと正座をして勉強したという。

を余儀なくされた。担任の松崎耕祐教諭(83期)は学園の卒業生。4月に赴任したばかりで「子供たちに学園の歴史を少しでも知ってほしかったので校外学習の一つとして企画しました。有意義な一日になったと思います」と話した。中山寺の住職池田光陽さん(71期)は、澄澄さんのひ孫にあたり学園の卒業生でもある。井上さんの講義のあと境内の建物を説明しながら案内された。

丘の上の、あの歌この歌



31期 竹田健次さん

産業道路を横切り、校門に入ると長い急坂が待っている。60数年前、級友らと桜の若木が植えられていた両側の斜面で、ふざけて落としたり落とされたりしながら下校したっけ。 やっと登りきると、緩やかな起伏の続く丘の上に木造の校舎が点在していた。

「この丘にひびく鐘の音 すこやかに〜」高2の時、創立30周年記念募集歌が発表された。わたしは残念ながら選外佳作。選ばれたのは(この丘に・曾谷市郎作曲 大畑和代作詞)今に歌い継がれる学園歌である。 おおらかな詞は軽やかな曲とあいまって、学園の家族的な雰囲気の中でゆっくりとはぐくまられていった。先年、亡くなった前校長、吉田忍君(同級生)の愛唱歌でもあった。

校舎の南側のグラウンドには高いポプラの木立、その東側に造成中の宅地が広がっていた。切り裂かれた赤い山肌は、西部劇に見る荒野のようで「テキサス」と呼ばれていた。 西側の、藤棚の向こうは静か

に水をたたえた二つの大きな池があり、間の小道をたどればよく手入れのされた竹林へと入っていく。心地よい竹の葉擦れの音がして、ふと見上げるとまばゆいほどの夏の空。「紺ぺきのはてなき空に わきあがり湧き上がる雲」。ひとり口笛を吹きながら、感傷にひたることもあったあのころ。(紺碧の 桂門学生歌)。

試験が近づくと、教科書は机に伏せたまま、畳に寝転んで歌った歌がある。「窓を廻りて有明の」。歌うと焦る気持ちが少し楽になった。自分への応援歌だったのかも。勉強は苦手だったが、思えば学園での日々は楽しかった。(窓を廻りて 高等学校自治会歌)。

学園の、あの歌この歌。口ずさむと、80歳の胸にもそっと青春がよみがえってくる。

桂門会の公式LINE はじめました
右下のQRコードLINE友達追加で登録ができます。
桂門会の最新情報をご覧いただけます。
ご登録をお待ちしております。

同期会だより



50期 パワフルな還暦

3月23日(土)に第50期卒業生還暦祝い同窓会を豊中のフリースペース「ベルウッド」にて開催しました。東京、名古屋、沖縄から総数44人の同窓生が一堂に会し、昔話に花を咲かせました。

桜井駅から現在の学園内の様子を動画で紹介したところ、会場のあちこちから感嘆の声が上がりました。やはり60歳になっても箕面自由学園の卒業生…思い出深い映像には感慨深いものがありました。皆が元気なうちに集まろうと思うて開かれた同窓会。「次はいつするの?」と、まだまだパワフルな同期生に安心させられました。

(50期 伊藤直晃)

90期 二十歳の集い 小学生の姿に戻る

90期生は、3月17日(日)に豊中市のザローフカフェにて二十歳の集いを行いました。

18人の卒業生に加えて保護者9人、そして担任の末廣先生をお迎えして、和やかに会を行う事ができました。

小学校を卒業してから8年という年月を感じさせない程、最初は戸惑っていた卒業生達も見事に小学生の頃に気持ちは戻り、大変盛り上がり、の会となりました。



次は2年後のタイムカプセルの時に会いましょう! と約束を交わし、楽しいひとときを過ごす事ができました。この会を企画した6年生時の保護者役員一同、感謝致します。ありがとうございました。

(90期生保護者代表一同)

93期 教室で開く 中学校同窓会

3月30日(土)朝、10時より中学校舎に集合。



今回の同窓会では先生から、この2年の成長が見られる写真を各自持ち参り、と課題をもらいました。仲のいい友達とユニバに行ったり、心機一転、髪を切り、決意表明など…。

食べることも忘れて話に夢中になり、皆の写真のスライドで見るとはそれぞれの話に集中して、それぞれの中学卒業後の2年間をともに味わいました。その後、たこ焼きパーティー、グラウンドで遊びまくり、18時から焼肉三昧。これを期に私達は、受験に挑みます。先生たちからは、「七転び八起きだるまをもうい、全力で受験に挑むことを誓いました。話は尽きることなく、20時ごろに閉会しました。あっとい間の1日でした。来年3月また。

(93期 中学73期 田中英生)

第38回桂門会 参加 笑い芸人 遠征話 和気あいあい盛り上がる 関東支部

第38回桂門会 関東支部の総会と親睦会は例年通り、K K R ホテル東京で、10月1日に開催致しました。一昨年末まで同窓会関東支部として活動してきましたが、昨年より桂門会関東支部と改めたことで、今年は、会則改訂、役員改正、会の旗を作成など新たな一歩を踏み出しました。

スピーチは型どおりの話でなく学園時代のエピソードで、「へー!そんなことがあったのだ」と、会場の空気を和ませました。ゲストとしてお迎えしたチアリーダー部監督野田一江さんが、キムタクとのTV放映の裏話で盛り上がり、今年2月アトラクタ遠征を映像を交えて話されました。26年元旦は、米国カリフォルニア州で、ローズパレードに吹奏楽部とチアリーダー部が日本を代表して出場するそうです。桜井のお山の学校が凄くなった。と感心しています。お笑い芸人THE・石原さん(石原正8期)やチアの卒業生にも話をしていたとき、二次会も含め、和気あいあいと家庭的なとても感じのいい会になりました。

来年は学園創立100周年になり、また良い集まりが出来ますように、皆様方のご支援をお願いいたします。

(30期 長尾益夫)



卒業生訪問 教員一年生 がんばる

今春から追手門学院高校の教員となり、日本史の教壇に立っている。ピカピカの社会人一年生だ。「すべてが初体験です。試行錯誤の毎日ですが、徐々に手探りから手こたえに変わりつつあります」。



松浦啓太郎さん

片道30分のツーリングで通っている。事故違反はなし。ルールは遵守しているが、「いろいろなドライバーがいます。注意のうえに注意していません」と。ヒヤッとすること、はしょっちゃうんです」。

3年生の副担任で、授業は1年生7クラス、2年生1クラスで週17コマを受け持つ。

明治維新から世界との関りを中心に教えている。「過去は未来の鏡。歴史を学べば、未来をどう生きるかがわかる」。だから大学で日本史を選んだという。

から大学院に進んだ。専門はペリー来航以降の近現代史だが、ゼミはオートバイの発達史だという。指導教授に「これが研究テーマになりますか」と尋ねたところ「いいんじゃないか」と背中を押された。

もちろんバイク好き。父親の影響もあって取得可能年齢に達すると免許を手に入れた。この夏休み、念願の大型二輪の免許を取得。400cc以上でも乗れるようになった。

いまは250ccのホンダCBにまたがり、茨木市のキャンパスまで

11月17日、アメフトの全国大会の準々決勝で学園ゴールデンベンアーズと追手門学院高がぶつかった。「奇妙な気分でした。どっちも勝ってほしいし負けてほしくもない」。これも教員ならではの体験でもあった。今年から桂門会の広報委員長を担っている。しかし「仕事に追われて役目をこ

なせていません」。これからやりたいことは？と尋ねると、「生徒の進路指導に携わりたいと思う。社会に巣立つ若者の岐路に立ちあいたい、いいアドバイスができればと思うが、それは教員の本望でもある。活躍を期待させる目の輝きだった」。

(35期 坂田考良)

被災者に寄り添う 能登支援チャリティー展

45期の石橋修子さん(写真右)と中谷順子さん(写真左)が嵯峨美大時代の同期生たちと陶芸展を11月21日から25日までの5日間、宝塚市の中山寺成就院で開催された。

能登粟津温泉で開催された。その折に地震の被害を見聞、そのあと9月に被災地を大雨が襲った。復興がままならぬ時の水害。仮設住宅が水に浸かりダブル災害に見舞われた被災者の様子がTVに映り胸が詰まったそう

荒井洋さんが防衛功労で叙勲 2度の震災の復旧に尽力



荒井洋さん

2022年に退官。その間、阪神淡路大震災や東日本大震災の災害派遣では多くの被災者の支援に従事された。これらの経験を通じて困難な状況においても地域の人々との絆の大切さを深く実感したという。叙勲は防衛功労の瑞宝双光章。

荒井さんは、授章は私一人の力ではありません。ともに働いた仲間や支えていただいた皆様のおかげです。これからも国民の平和と安全を守るため尽力してまいります」と喜びを語っていました。



石橋さんは大学卒業後、しばらく陶芸から離れていたが、数年前に学園の恩師である美術の山下毅先生の誘いで再び轆轤の世界に戻られた。

中山寺の住職池田光陽さんは石橋さんの甥にあたり、学園の卒業生でもあり、こころよく会場を提供してもらえた。出展に参加したのは計9人。陶芸教室を主宰されているプロもおり、約300点の作品が集まり即売された。

石橋さんは「少しでもお助けしたいというのが私たちの気持ちです」と話され、売上から地震と水害の被災者らに各15万円を寄贈された。

チア ゴールデンベアーズ アメリカで躍動

高校チアリーダー部ゴールデンベアーズ(GB)が2月下旬、米アトランタ市に遠征、NBA(米プロバスケットボール協会)のハーフタイムショーに出演して「日本一の演技」を披露しました。

チア部の卒業生でNBAのダンサーをやっている大西真菜美さん(82期)の仲介で実現しましたが、最大のネックが遠征資金でした。インターネットでクラウドファンディングを立ち上げて資金を募ったところ、513人から775万円が寄せられました。さらに



学校側や桂門会からの支援金も合わせて経費2000万円がまかなえました。

遠征は部員とスタッフ計63人に保護者らが加わり、2月23日に

学校側や桂門会からの支援金も合わせて経費2000万円がまかなえました。

遠征は部員とスタッフ計63人に保護者らが加わり、2月23日に



NBA公式戦ハーフタイムショーで演技

米大学アメフトの頂点ローズボウルのパレードに参加が予定されています。再び資金集めが必要ですのでご厚志をお願いします。

約5分間のパフォーマンスでは、得意のアクロバティックな演技をはじめ、ポンポンで「ATLANTA」の文字を描いて見せた。ゴールデンベアーズの笑顔の演技は観客を魅了し、ファンが嵐のような拍手を送り、会場は歓声に包まれたという。

監督の野田一江さんは「本場でGBが認められたと思いました。表現できない感激を味わいました」と話しています。

3月2日に保護者や募金してくれた支援者を招いて報告会を開き感謝を伝えました。26年の正月には吹奏楽部のマーチングバンドと渡米。カリフォルニア

で行われる全米大学アメフトの頂点ローズボウルのパレードに参加が予定されています。再び資金集めが必要ですのでご厚志をお願いします。



「サブスク」 「白」

まんが甲子園 全国大会入賞

「まんが甲子園」の本選が8月4日、高知市で開かれ、漫画・イラスト部が全日空賞(入賞)を受賞しました。33回目の今年には韓国や台湾など海外からも応募があり、国内外の200校が6月の予選に参加。決められた「サブスク」のテーマを「コマの漫画」で描き、33校が本選に進みました。

学園は、「白」のテーマにカラスと荒らされたごみ袋を描き、「オレはシロなのにとカラスが濡れ衣をつぶやいているシーンを」コマにまとめた。クスツと笑える漫画になっていました。

JAPANCUPS 連覇!

高校のチアリーダー部ゴールデンベアーズが今夏のJAPAN・CUP2024日本選手権大会で優勝、5連覇を果しました。

今年には各校とも実力伯仲して接戦が予想されました。ゴールデンベアーズは準決勝で首位梅花とは0.5差の2位。しかし僅差を想定した練習を重ねてい

たという。「決勝で逆転する心構えはできていたので、平常心で臨めた(井上綾香コーチ)。

練習で培った精神力で決勝はノーミスのパフォーマンスを披露し、ライバルに競り勝つという王者の風格を見せつけました。「元氣・勇氣・笑顔」が信条のゴールデンベアーズ。これからもさらなる高みに向かって走り続けま

すのでご声援をお願いします。

高校マーチング全国大会 3年連続 金賞 吹奏楽部



全国高校マーチング大会が11月17日、大阪城ホールで開かれ、吹奏楽部ゴールデンベアーズは3年連続の金賞を獲得しました。激戦の大阪府大会、関西大会を勝ち抜いての全国大会。強豪計36校が顔をそろえ、隊列行進と演奏を競いました。

今年のゴールデンベアーズは1年生全員が加わりました。大会未経験者がチームの約3割を占め、不安要素を抱えての出場でした。それだけに基礎練習を繰り返し、足運びやつま先まで意識した姿勢を覚えこみました。その成果が「統一美」に結びつき金賞を射止めた。

顧問の福里大輔教諭は「全部員が結集してやれたのが一番です。さらに上を目指したい」と喜びを語っていた。

高校陸上競技部の福島直樹さん(3年生)が5月24日、ヤンマード長居で行われた第77回大阪高等学校陸上競技対抗選手権大会で、男子走り幅跳び決勝で7.42メートルを優勝しました。福島さんは2回目の跳躍で快挙を達成、完璧な踏み切りで自己ベストをマークしました。これは今季の高校シーズン記録で全国トップでした。



陸上部 走り幅跳び 全国ランキング1位!

しかし、この跳躍で左太ももを痛め全国大会のキップを逃した。けがは残念だが、競技は大学でも続けるつもりなので、この記録を糧に頑張りたい」と、大学入試に取り組んでいます。

変化する社会と触れ合うなかで、自分の立ち位置を把握して、何がしたいのか、何ができるのかを考えさせる多様なカリキュラムが準備されています。田中学園長が就任以来、一貫して発信されている「自分で決めて、努力して努力してつかみ取る方針が学園に浸透し、高いモチベーションが溢れています。

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
国公立大	72名	69名	83名	113名	159名
関関同立	141名	162名	205名	137名	472名

卒業生 「こっちのけんこ」ダンス部とコラボ

学園の高校卒業生で「はいよろこんで」のヒット曲で知られるマルチクリエイター「こっちのけんこ」(本名 菅生健人さん)が11月5日放送のNHKの歌番組に出演、恩師の柏原志より教諭と再会し、母校の後輩である女子ダンス部とコラボした。



けんこさんは箕面市の出身。3人兄弟で、長男が俳優でもうまますかと依頼があり、ダンス部の顧問宮林香奈教諭ともコラボしています。

コーチの木下満月教諭らで協議して引き受けた。番組で歌われるのはヒット曲の「はいよろこんで」で、曲に合わせて振り付けを木下教諭が考案。約2週間、練習を重ねた。すでに3年生が部を引退しており、残った20人は17人が1年生で、2年生が3人という若いチーム。経験不足が一番の不安だったが、2年生がリーダーシップを発揮して引った張った。

企画が決まった際、けんこさんは恩師の柏原教諭にぜひ会いたいという希望があり、スタジオに招かれて再会した。

柏原教諭の話では、けんこさんを高校3年間、担任した。すぐく歌がうまく、教室で歌うと、クラスメイトの輪ができていた。「こっちのけんこ」が教え子だとは知らなかった。2学期に入って、生徒がタブレットで「けんこ」の歌を聴いていて、その歌声でわかったという。

「優しい子で大学生のとき、一輪の花を持ってきてくれました。年末の紅白歌合戦に初出場も決まって、本当にうれしいです」と感無量だった。



柏原志より教諭
話では、けんこさんを高校3年間、担任した。すぐく歌がうまく、教室で歌うと、クラスメイトの輪ができていた。「こっちのけんこ」が教え子だとは知らなかった。2学期に入って、生徒がタブレットで「けんこ」の歌を聴いていて、その歌声でわかったという。

大学進学実績大幅に飛躍 東大現役合格も

24年春の大学進学が飛躍的に伸びました。東大に1人が現役合格をしたのを含め、国公立大に159人が合格、難関の関関同立にも472人の合格者を数え、過去最高の実績となりました。これは生徒たちの努力の結果であり、学園関係者の教育方針の成果でもあります。

「君の東大はどこだ？君の東大を探せ」。これが田中良樹学園長・校長のメッセージです。生徒が自分にとって一番の大学へ進学する。目標を明確にして受験に邁進していこうという思いが込められています。

生保・損保の取扱を始めました

学園の100%出資子会社である
(株)育英社は1月から
生保7社・損保8社の取り扱いを
開始します。
MJGライフパートナーズで検索。
相談窓口は06-6852-8110
担当 吉永まで

ご相談は
アセピキア



参加者は13人と少なかつたですが、みなさんは思い思いにフリーできました。



秋の恒例イベントの第15回桂門会ゴルフコンペを9月22日(日)に開催しました。
毎年、秋分の日に大林功先輩(31期)がオーナーの有馬ロイヤルゴルフが会場でしたが、今年は男子プロツアーのパナソニックオープンと重なり、会場探しをしていただくところ、元岡忠昭先輩(41期)のご尽力で宝塚高原GCにエント

笑い声がたえない ゴルフコンペ

桂門会費の納付を お願い致します

「終身会費30,000円」
「年会費2,000円」
18才未満及び
75才以上は会費免除

- 終身会費 3万円をご納付いただきますと、以降、毎年の年会費の納付は不要になります。
- 年会費 毎年ごと、2000円のご納付になります。

〈納入方法〉
お近くの郵便局から、下記の郵便振替口座に送金してください。

【送金先】郵便振替口座番号 00920-2-2458
口座名 箕面自由学園同窓会
桂門会報に同封している郵便振替用紙をお使いいただくと、振込手数料は不要です。

第16回 MJGゴルフ大会のご案内

日時 2025年10月19日(日)
場所 有馬ロイヤルCCノーブルコース
時間 未定
表彰 ダブルペリア方式
実行委員 木村栄次(31期) 藤谷昇吾(47期)
島守宏明(47期) 表西政純(70期)
※連絡先 080-6168-0750(表西 携帯)

レールを楽しまれ、ホールアウト後のパーティーも笑い声が絶えず、親睦を図ることが出来ました。
来年は暑さも残り、左記の通り10月に開催いたします。
(47期 島守宏明)

◆編集後記◆
昨年の総会で参加者最高年齢の90歳だった矢野さんが2月にお亡くなりになりました。総会で西村会長が学園草創期の思い出を書い
てくださると依頼すると快諾され
て、帰宅後すぐに執筆されたそう
です。ご遺族から写真も提供いた
だきました◆いよいよ100周年を迎
えます。箕面村の片田舎で産声を
あげましたが、戦後の混乱期には
校舎を失い宣真学園から中山寺を
転々となりました。苦難の時代を学
ぶため小学校3年生が校外学習で
中山寺を訪れました。子供たちが
歴史を大事にしようとしています
◆チアが米国遠征と5年連続日本
一。マーチングも3年連続の全国
金賞。同窓生の誇りです。

訃報

天満 明夫	74	期
壁屋 禎一	27	期
鎌田 貴陽子(旧姓中山)	15	期
田中 克己	46	期
中島 紀佐子(旧姓橋本)	9	期
野田 和枝(旧姓伊藤)	31	期
北西 健樹(旧姓戸田)	36	期
村田 恭子(旧姓村上)	34	期
木村 博和	37	期
山脇 成子	40	期
安田 まつゑ(旧姓勝負)	40	期
浅沼 桂子(旧姓姥名)	31	期
村上 明禰	30	期
黒田 基嗣	28	期
岡浩 正泰	32	期
喜多 正泰	32	期

2024年度予算

自 2024年4月1日 ~ 至 2025年3月31日 (単位円)

収入の部	科目	2024年度予算額	2023年度予算額	差異	備考
入会金	9,100,000	8,300,000	800,000	初80名、小10名、中40名、高780名、計9110名 (内部進学予定者名除く)	
年会費	150,000	200,000	△ 50,000		
終身会費	510,000	1,200,000	△ 690,000		
受取利息	123,000	180,000	△ 57,000		
寄付金収入	0	0	0		
雑収入	0	0	0		
基金収入	8,000,000	0	8,000,000	昨年度基金支出へ予算外で追加した分を繰り入れ	
前年度繰越金	2,043,535	9,142,127	△ 7,098,592		
収入計	19,926,535	19,022,127	904,408		

支出の部	科目	2024年度予算額	2023年度予算額	差異	備考
総会事業費	550,000	550,000	0	同窓生の集い、ゴルフコンペ	
事務局運営費	1,250,000	1,250,000	0	職員給与、交通費	
事務消耗品費	100,000	100,000	0	消耗品、他	
旅費交通費	300,000	280,000	20,000	関東支部総会出席、役員会、会計監査出席、役員会他	
什器備品費	50,000	50,000	0		
通信費	2,250,000	2,000,000	250,000	会報発送、プロバイダー費、電話・郵便、機材調達、LINE維持費、他	
印刷費	700,000	550,000	150,000	会報印刷、卒業生一覧、メッセージカード、他	
課外活動振興費	1,000,000	1,000,000	0	クラブ活動表彰	
渉外費	1,950,000	1,950,000	0	同窓会後援会、小・中・卒業記念品、高、クラブ招待、体育大会他	
会議費	200,000	200,000	0	同窓会後援会、小・中、卒業記念品、高、クラブ招待、体育大会他	
図書費	30,000	30,000	0	高校新幹線委員会、懇話会費、他	
専払手数料	70,000	70,000	0	振替・振込手数料、他	
雑費	10,000	10,000	0		
租税公課	10,000	10,000	0		
寄付金支出	0	0	0		
基金支出	6,000,000	4,000,000	2,000,000	基金に繰入る＜通常基金積立、周年事業基金積立＞	
関東支部関連費	300,000	300,000	0		
予備費	1,000,000	1,000,000	0		
次年度繰越金	4,156,535	5,672,127	△ 1,515,592		
支出計	19,926,535	19,022,127	904,408		

基金の収支	科目	2024年度予算額	2023年度決算額	昨年度との差異	備考
前年度繰越金	88,323,829	79,323,781	9,000,048		
当期繰入額	6,000,000	12,000,160	△ 6,000,160		
当期取崩額	8,000,000	3,000,112	4,999,888		
次年度繰越金	86,323,829	88,323,829	△ 2,000,000		

2023年度決算

自 2023年4月1日 ~ 至 2024年3月31日 (単位円)

収入の部	科目	2023年度予算額	2023年度決算額	差異	備考
入会金	8,300,000	8,180,000	△ 120,000	初75名、小13名、中68名、高662名 合計8118名	
年会費	200,000	144,000	△ 56,000		
終身会費	1,200,000	900,000	△ 300,000		
受取利息	180,000	184,783	△ 4,783		
寄付金収入	0	388,304	388,304	組合チャリ基金 他	
雑収入	0	40,000	40,000	懇話会費他	
基金収入	0	3,000,112	3,000,112	定期解約	
前年度繰越金	9,142,127	9,142,127	0		
収入計	19,022,127	21,979,326	2,957,199		

支出の部	科目	2023年度予算額	2023年度決算額	差異	備考
総会事業費	550,000	372,903	△ 177,097	同窓生の集い、ゴルフコンペ	
事務局運営費	1,250,000	1,157,714	△ 92,286	職員給与、交通費	
事務消耗品費	100,000	69,181	△ 30,819		
旅費交通費	280,000	304,560	△ 24,560	関東支部総会参加、役員会 他	
什器備品費	50,000	29,590	△ 20,410		
通信費	2,000,000	1,825,118	△ 174,882	会報発送、電話・郵便 他	
印刷費	550,000	571,740	△ 21,740	会報印刷、卒業生一覧 他	
課外活動振興費	1,000,000	731,000	△ 269,000		
渉外費	1,950,000	1,582,022	△ 367,978	中卒卒業記念品、幼・小後援、クラブ招待、体育大会他	
会議費	200,000	205,203	△ 5,203	高校新幹線委員会、懇話会 他	
図書費	30,000	0	△ 30,000		
専払手数料	70,000	61,293	△ 8,707	振替貯金手数料、振込手数料 他	
雑費	10,000	0	△ 10,000		
租税公課	10,000	1,907	△ 8,093		
寄付金支出	0	663,450	663,450	チャリ基金返済、収支報告冊子ツール寄贈	
基金支出	4,000,000	12,000,160	8,000,160	定期預金、周年事業基金	
関東支部関連費	300,000	300,000	0		
予備費	1,000,000	59,950	△ 940,050	桂門会ロボデザイン料	
次年度繰越金	5,672,127	2,043,535	△ 3,628,592		
支出計	19,022,127	21,979,326	2,957,199		

統括表	科目	2023年度予算額	2023年度決算額	差異	備考
前年度繰越金	9,142,127	9,142,127	0		
当期収入	9,880,000	9,837,087	△ 42,913		
基金収入	0	3,000,112	3,000,112	定期解約	
当期支出	9,350,000	7,935,631	△ 1,414,369		
基金支出	4,000,000	12,000,160	8,000,160	定期預金	
次年度繰越金	5,672,127	2,043,535	△ 3,628,592		